



山村美咲子 議員

「通学路の安全対策」について

問 ① 昨年実施された、通学路における緊急合同点検の取り組み状況は？

② 本来、通学路の安全点検は継続的に行われていなければならぬものです。今後どういう形で継続していく考えですか。

③ 危険箇所対応の進捗状況をホームページで公開していく必要があるのでは？

④ 奈良県警が取り組んでいる「ゾーン30」を広陵町でも推進していくべきでは？

⑤ 沢の町道を速度制限をしたが、守られていない。道幅も狭く大変危険である通学路であるのは、町も認識しているのではないか。安全対策に取り組んでいただきたい。

理事者 昨年の通学路における交通事故を受け、通学路の全国一斉点検が実施されました。本町では、33箇所の対策必要箇所がありました。現

在では整備が進み、33箇所中20箇所が対策済みで、7箇所が対応途中(県対応4箇所、町対応3箇所)。残る6箇所が検討中で、25年度町対応予定が2箇所、残りの4箇所は香芝警察との協議で対応する予定です。

② 今後もPTA、警察とも協議しながら、通学路の安全対策については継続的に実施していきます。

③ 進捗状況を把握するにはホームページで公開するなど進行管理をしつかりする必要があります。

④ 「ゾーン30」については、沿線の皆様の協力を得ながら、町内でも取り入れていくよう考えます。

⑤ 沢の通学路歩行者安全確保の要望には、用地確保のため地元協議が整えば、速やかに整備していきます。

◆その他の質問事項

○安心・安全なまちづくりのために
○学校給食における食物アレルギー対応について



山田美津代 議員

西幼稚園廃園検討は やめるべき！

問 西と西第二幼稚園の老朽化による統廃合はやめて、地域の幼稚園は地域で建て替えていく必要がある。竹取公園前や寺戸近く、またはタイタン近くから通っている園児もいる中で、平尾だけになれば通園も遠い所は困難になる。地域で愛され溶け込んでいく必要な教育施設は地域で建てるべき。

安田教育長 2園とも四十年経過して施設の整備を進めたい。教育的な観点から統合も視野に入れて検討中。統合しないで、建て替えが妥当との結論となる場合もあります。

中央公民館の職員数は適正な配置をされていますか？

問 町民が利用しようと予約を取りに行っても、最近混んでいたたり、電話中だったり以前と比べて職員が大幅に配置替えになり、何か聞いてもわからない事が多くお困り

です。体育館利用と合わせて年間15万人も利用されている。住民サービスが低下しないよう配慮がいるし、適正な職員数の配置を考えていただきたい。

平岡町長 少数精鋭主義を基本としている。人員だけでなく人材を育てる事も大切であり常にその視点で適正な配置をしている。

安田教育長 月の初めは集中する。本庁からも応援をして態勢をとりスムーズに対応している。

公共施設建設時には、奈良県産材を！

問 奈良県産材は、白アリにも災害にも強い。これから老朽化による公共施設の建て替えや歴史文化会館(仮称)の建設、中学校給食実施による案の中にランチルーム等検討されている中で、暖かみがあり、衝撃を和らげて足の負担やケガの防止にもなる県産材の使用が必要と思われれます。ぜひ県も薦めている県産材の活用を。

平岡町長 本町では公園の屋外トイレや観光トイレに使用している。今後、公共施設での使用は、構造、場所等、また耐火性能、耐久性等十分検討しながら進めてまいりたいと考えます。